

科目	論理国語	学年	第3学年	開講	通年	必修	3単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

教科書:精選 論理国語(明治書院)

副教材:精選論理国語学習課題ノート(明治書院)、キーワード漢字2700(浜島書店)、名作を味わう 定番小説選(数研出版)  
新訂総合国語便覧(第一学習社)、3ステップオリジナル問題集 錬成現代文<大学入学共通テスト対策新装版>

1 学習の到達目標

- 1 文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。
- 2 文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解によって、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。
- 3 現代社会において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。
- 4 生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	都市・建築	近代都市のレトリック(陣内秀信)	・全体を三つの意味段落に分け、それぞれの関係を考える。文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握している。	4		○		
							○	○	○
	メディア	視覚の生命力	・写真以外の分野でも同様にデジタル化が進んでいるが、その具体例をあげてみよう。その分野で、デジタル化が身体に与える影響について、妥当性・信頼性の高い根拠を用いて述べてみよう。	・本文と資料を踏まえて考えをまとめ話し合う。 ・思考の構築に資する読書の意義を理解する。 ・デジタル化の与える影響について調べ、適切な根拠をそろえてまとめる活動。	5	中間	○	○	○
							○	○	○
歴史	多様化するメディア・ツールと子ども	・電子メディアは、「家族や人間関係のあり方」をどのように変化させたか。妥当性・信頼性に注意しながらデータ等の根拠を用いて述べてみよう。	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。	6		○			
						○	○	○	
		歴史を哲学する	・書き手の意図や論理の展開について、分析したり、論証した学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、構成や展開について理解を深める。	7			○	
		前期 授業評価			8	期末	○	○	
後期	社会・体験	現代社会における物語	・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深め、複数の文章を批評する活動を通して、進んで推論について理解しよう。	・筆者の主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。	10		○	○	○
	言語	消えゆく言語・方言を守るには	・共通言語がある場合と言語が多様にある場合のどちらが言語のあり方として理想的だと考えるか。メリット、デメリットを踏まえ、多角的な観点でまとめてみよう。	・「危機言語」についての自分の考えを、主張を明確にしたうえでまとめる活動。 ・推論の仕方について理解を深め使用する。	11		○	○	○
	平等・制度	デモクラシーと平等	・『デモクラシーと平等』も踏まえたうえで、筆者の主張に対してどう考えるか、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「平等」についての文章や資料を読み、自分の考えを論述する活動。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。	12	期末	○	○	○
	近代・現代	私の個人主義	・「自己本位」「個人主義」についての筆者の考えをまとめ、筆者の考えについて、現代と比較しながら自分の考えをまとめてみよう。さらに、クラスやグループで交換し、構成や展開について批評し合う。	・本文と資料を踏まえて考えをまとめ話し合う。 ・「個人主義」についての自分の考えをまとめ、批評し合う活動。 ・自分の考えをまとめ、批評し合う活動。	1		○	○	○
			後期 授業評価					○	○

3 評価の観点

- 【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。  
 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。  
 <評価算出方法>  
 【知識・技能】【思考・判断・表現】素点÷配点×100  
 【主体的に学習に取り組む態度】平常点100点